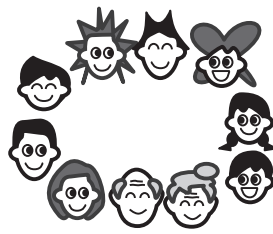


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和5年12月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行 訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？
津谷歯科医院、院長の津谷良です。

入れ歯を作る主な目的は、①噛めるようにする②発音を明瞭に保つ③顔貌を整える等があげられます。令和4年の歯科疾患実態調査の結果によると、80歳以上の高齢者の入れ歯状況は、総入れ歯が30%以上、部分入れ歯が45%以上となっています。要介護者でも半数以上は入れ歯を持っていますが、「入院したら入れ歯が合わなくなった」という相談を受けることが多々あります。実は、入院と入れ歯の不適合には密接な関係があります。合わない入れ歯は患者様の口腔健康や快適さに影響を及ぼすため、適切なケアが必要です。入退院の前後に歯科医師と連絡を取り、必要な調整やメンテナンスを行うことが重要です。今月は、「入院による入れ歯の不適合」をお届けします。



要介護の方の場合、基礎疾患や肺炎等で入院することは珍しくありません。身体の管理が最優先になりますが、入れ歯が合わないとは低栄養や誤嚥といったリスクの原因となるので注意が必要です。それでは入院と入れ歯の不適合の関係についていくつかご紹介したいと思います。

1. 体重減少・・・入院中に体重が増減することがあります。体重の変化によって、口腔内の組織や歯ぐきの形状が変化し、入れ歯の適合性が損なわれることがあります。特に、急激な体重減少は、義歯不適合の大きな原因となります。

2. 咬合筋の筋力低下・・・咬合筋(こうごうきん)は噛む時に働く筋肉のことです。側頭筋・咬筋・外側翼突筋・内側翼突筋の4種類あり、これらの筋肉は食事を咀嚼し、噛む動作を助ける役割を担っています。入院して病院の食事が粥や流動食または点滴等で、噛む力をあまり必要としない期間が続くと、咬合筋は十分に使われず筋力が低下して咀嚼に関連する問題が生じることがあります。特に入れ歯を使用している場合、本人が気づかなくても入れ歯が

合わなくなっていることがしばしばあり、退院後に入れ歯のチェックや調整が必要になります。

3. 口腔の状態変化・・・入院中に口腔内の状態が変化することに起因するものがあり、例えば、口内の粘膜が荒れる、口内炎ができる、または唾液の分泌量が変化することで入れ歯の適合性に影響を及ぼすことがあります。

4. 健康状態の変化・・・入院中に患者様の健康状態が変化することがあり、特に重篤な疾患や手術後の薬物治療による副作用などが口腔内の状態に影響を及ぼすことがあります。これにより入れ歯の適合性が低下し不快感や痛み等が生じる可能性があります。

5. 義歯の状態・・・入れ歯自体が古く、経年劣化が進行している場合、入院前に義歯の点検やメンテナンスが不十分だと、入院中にその問題が浮き彫りになることがあります。

入れ歯の不適合が肺炎や低栄養のきっかけとなり入退院を繰り返す隠れた原因となっていることもありますので、歯科医師のチェックを受けましょう！

◆ 入退院の前後には、入れ歯の状況を歯科医師にチェックしてもらいましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただいていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413